

■学内共同教育研究施設

| 施設 | 設置年度 | 設置目的 |
|-------------------|------|--|
| 生物環境調節センター | 昭.41 | 学内の生物学関連分野に制御環境を提供するとともに、生物環境調節に関する研究を推進する。 |
| 熱帯農学センター | 昭.50 | 本学における熱帯農学に関する研究及び教育を行う。 |
| アイトープ総合センター | 昭.55 | アイトープ関係の教育研究を行うとともに、アイトープの安全管理を総括し、アイトープを利用して教育研究を行う教員その他の者の共同利用に供する。 |
| 中央分析センター | 昭.57 | 本学教員その他の者が研究教育上必要な分析及び試料作成を行う。 |
| 留学生センター | 平.4 | 外国人留学生に対する日本語、日本文化・日本事情等の教育及び修学・生活上の指導助言を行う。また、海外留学を希望する学生に対する修学・生活上の指導助言、留学生交流の推進に関する業務を行う。 |
| 総合研究博物館 | 平.12 | 学術標本の収蔵、分析、展示・公開及び学術標本に関する教育研究の支援並びにこれらに関する調査研究を行うとともに、学内外の教育研究活動に寄与する。 |
| システムLSI研究センター | 平.13 | システムLSIの応用・設計・製造・検査に関する技術を総合的に研究し、その学問体系の確立と高度情報化社会における当該技術の利用について調査研究を行う。 |
| 宙空環境研究センター | 平.14 | 宙空環境変動(宇宙天気)の予報や宇宙ゴミの警報などの実用化に向けた新しい宙空環境科学の創成のための調査研究を行う。 |
| 韓国研究センター | 平.14 | 韓国を中心とする朝鮮半島地域の学際的で総合的な研究を行うとともに、国内外の関連研究者との共同研究をコーディネートし、韓国研究の結節点として機能する。 |
| 医療系統合教育研究センター | 平.15 | 医学、歯学、薬学及び保健学の分野の教育における共通基盤教育(以下「医療系統合教育」という。)に関する研究を行い、その改善充実に資するとともに、医学部、歯学部及び薬学部が行う医療系統合教育に係る企画及び実施を支援する。 |
| 高等教育開発推進センター | 平.18 | 高等教育に関する研究開発を行うとともに、全学教育、学府共通教育、教育プロジェクト等の実施及び推進並びに入学者選抜方法、学生生活・修学支援等の開発、企画及び実施を行うことを目的とする。 |
| 超伝導システム科学研究センター | 平.15 | 超伝導システム科学に関する基礎から各種情報、エネルギーシステムへの応用までを目指した研究・教育を包括的に行う。 |
| 感性融合デザインセンター※1 | 平.15 | コンテンツ創成科学部門とユーザーサイエンス部門の2つの教育研究部門からなり、芸術的感性の諸科学への融合による新しい価値の創造と有為な人材の育成を目的とした教育及び研究を行う。 |
| 産学連携センター | 平.15 | 本学と産業界との研究協力及び学術交流を推進するとともに、地域社会への貢献に資することを目的とする。 |
| 超高圧電子顕微鏡室 | 昭.50 | 電子顕微鏡(電顕)観察用試料の作製、電顕写真並びにデータ処理を行う等超高圧電顕による研究を推進する。 |
| 特殊廃液処理施設 | 昭.57 | 本学の教育研究活動によって発生する無機系、有機系廃液及び固形廃棄物を適正に処理する。 |
| 西部地区自然災害資料センター | 平.元 | 九州地区及び山口県における自然災害に関する資料を収集・整理し、本学の教員その他の者の求めに応じて資料を検索・提供するとともに、自然災害に関する研究を行う。 |
| 電離気体実験施設 | 平.2 | 電離気体に関する実験・研究を行う。 |
| 大学文書館 | 平.17 | 本学に関わる法人文書等の資料を収集・整理・保存し、大学及び大学の歴史に関する調査研究を行うとともに、その資料を、学生、職員その他一般の利用に供する。 |
| ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー | 平.8 | 本学の大学院において、ベンチャー・ビジネスの萌芽ともなるべき独創的な研究開発を推進するとともに、高度の専門的職業能力を持つ創造的な人材を育成する。 |
| アドミッションセンター | 平.15 | アドミッションオフィス方式(総合評価方式)入学試験の実施を行う。 |
| 水素エネルギー国際研究センター※2 | 平.16 | 水素の製造・供給・利用及び安全評価に関する技術を総合的に研究し、その学問体系の確立と環境と調和した高度エネルギー利用社会における当該技術の利用について調査研究と高度人材育成、技術の確立を行う。 |
| 未来化学創造センター | 平.17 | 未来化学の拠点として、ナノテクノロジー、フォトニクス及びバイオテクノロジーを基盤とした新産業創出のための新規化学技術に関して集中的かつ有機的連携のもとで研究を推進し、その学問体系の確立と未来社会における化学技術の利用についての調査研究及び応用技術の確立を行う。 |
| バイオアーキテクチャーセンター | 平.17 | 生物機能の解析、高度活用及びデザインに関する技術の総合的な研究開発を行い、生物機能デザイン等の技術に基づいた物質生産プロセスの開発拠点を構築するとともに産官学連携を推進する研究開発の場を提供し、社会・産業へ貢献する。 |
| 鉄鋼リサーチセンター | 平.17 | 鉄鋼の製造技術や新しい材料開発に関連して、大学と企業が共同で解決すべき課題について産学連携で取り組み、得られた研究成果を実際の鉄鋼生産に結びつけていくための国家プロジェクト研究や大型プロジェクト研究に展開させるとともに、鉄鋼関連企業において即戦力となり得る人材の育成輩出を目指す。生命情報学とコンピュータモデリング(ドライ研究)を積極的に導入し、要素情報を多次元(生化学、電気、機械等)、多階層(遺伝子、分子、細胞、組織、固体)の生体システムとして再構築し、シミュレーター・デジタルペイシェントの開発を行う。 |
| デジタルメディスン・イニシアティブ | 平.17 | 経済的な発展と国土の開発が進む現代アジアを総体的に捉え、政府、自治体、企業、市民社会に対し、有益かつ有効な政策提言の行える調査・研究を行う。 |
| アジア総合政策センター | 平.17 | 経済的な発展と国土の開発が進む現代アジアを総体的に捉え、政府、自治体、企業、市民社会に対し、有益かつ有効な政策提言の行える調査・研究を行う。 |
| 低温センター | 平.18 | 低温実験等に不可欠な液体ヘリウム、液体窒素等を安全かつ安定的に供給するとともに、寒剤利用者に対する保安教育及び寒剤利用者の低温実験等の支援を行う。 |
| 産業技術数理研究センター | 平.19 | 数学と他分野との融合研究を実施するとともに、産業界と連携して研究交流及び人材育成を推進する。 |
| 加速器・ビーム応用科学センター | 平.19 | 量子ビームを安定的に供給し、量子ビームの利用者に対する教育研究上の支援及び安全教育を行うとともに、加速器及び量子ビームに係る研究開発を行うことを目的とする。 |
| 稲盛フロンティア研究センター※3 | 平.19 | 人類が安心して快適に生活するために必要となる理想の科学技術について、時代に先駆けて研究提案できるようなフィールドを提供し、人に優しい科学技術を確立することを目指すとともに、センターにおける研究活動を通じて、将来の科学技術を担う人材を育成する。 |
| 炭素資源国際教育研究センター | 平.20 | 国内外における産学官連携の下に、石炭等の炭素資源を地球環境に負担を与えずにエネルギー及び化学原料として有効利用するための学際的で総合的な研究を行うとともに、将来において当該研究を担う人材を育成することを目的とする。 |
| シンクロトロン光利用研究センター | 平.21 | センターは、シンクロトロン光を活用したマテリアル研究等を通じ、人類が直面するエネルギー・環境問題の解決のための研究を推進し、この分野における人材を育成するとともに、他機関との共同研究等を推進し、センターの共同利用を促進することを目的とする。 |
| 先端融合医療創成センター | 平.21 | センターは、医薬分野と他分野との医療に関する先端的融合研究を実施するとともに、当該研究分野における産学官連携及びオープンイノベーションを推進し、人々の健康維持と安心安全な社会の実現に資することを目的とする。 |

※1 感性融合創造センターが平成21年4月に改称
 ※2 水素利用技術研究センターが平成21年8月に改称
 ※3 フロンティア研究センターが平成20年4月に改称

■情報基盤研究開発センター

| 設置年度 | 設置目的 |
|-------|---|
| 平. 19 | 研究,教育等に係る情報化を推進するための実践的調査研究,基盤となる設備等の整備及び提供その他専門的業務を行う。 |

■健康科学センター

| 設置年度 | 設置目的 |
|-------|---|
| 昭. 53 | 健康科学に関する研究並びに保健及び体育に関する教育を行うとともに,職員,学生等の健康管理及び体育指導に関する専門的業務を行う。 |

■機構

| 機構 | 設置年度 | 設置目的 |
|----------|-------|--|
| 高等教育機構 | 平. 18 | (1)学部教育及び学府教育に関する共通事項の企画,実施及び支援 (2)教育の質の保証に関する企画,実施及び支援 (3)入学者選抜に関する企画及び支援 (4)学生生活,修学,就職及び進学に関する企画及び実施 (5)大学全体として組織的に行う教育内容・方法等に係る研究や研修に関する企画,実施及び支援 (6)教育改革に関する企画,実施及び支援 |
| 高等研究機構 | 平. 13 | 学術研究の将来戦略の策定,COE研究として相応しい多様な研究グループの組織化を推進,全学的視野に立った研究所,学内共同教育研究施設等の研究組織のあり方等の検討。 |
| 産学連携推進機構 | 平. 10 | 知的財産本部,産学連携センター,ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー及び各部局が連携して,全学的な立場で産学連携を推進するシステムであり,本学の研究成果を社会に還元するとともに,産業界等からのニーズに関する情報,支援等を受け入れ,本学の教育研究の高度化・活性化に資する。 |
| 国際交流推進機構 | 平. 14 | 学術の国際交流の推進,学生の海外留学及び外国人留学生受入れ等の推進,アジアの総合研究等の推進の企画及び実施を円滑に行う。 |

■情報統括本部

| 設置年度 | 設置目的 |
|-------|---|
| 平. 19 | 全学的な情報基盤の整備,情報技術を用いた教育研究及び大学運営に関わる業務の総合的な支援を行う。 |

■推進室等

| 推進室等 | 設置年度 | 設置目的 |
|-------------|-------|---|
| 教育改革企画支援室 | 平. 18 | 本学の教育改革の構想を機動的・積極的に推進し,教育の高度化,個性化,活性化に資するとともに,高等教育審議会等の任務を支援する。 |
| 研究戦略企画室 | 平. 14 | 本学の戦略的研究企画を機動的及び積極的に推進し,研究の活性化,高度化,個性化を図る。 |
| 社会連携推進室 | 平. 15 | 本学の社会連携の窓口として,社会連携推進戦略の原案作成,社会連携連絡協議会・自治体等との連絡調整,社会連携に関する情報の収集及び提供等に関する業務を行う。 |
| 知的財産本部 | 平. 15 | 知的財産の創出,取得,管理及び活用を総合的・戦略的に実施し,産学連携を推進する。 |
| 国際交流推進室 | 平. 14 | 戦略的国際交流プロジェクト等の企画・立案を行うとともに,総長のリーダーシップのもとで,各国際交流活動推進するための調整的機能を担う。 |
| 教育国際化推進室 | 平. 21 | 教育の国際化戦略原案の策定,学生交流(受入れ及び派遣)の推進等,教育の国際化の推進を支援する。 |
| 大学評価情報室 | 平. 16 | 評価及びマネジメントに資する基礎情報の調査・収集・分析による点検・評価活動への支援及び「大学評価情報システム」に関する業務を行う。 |
| 新キャンパス計画推進室 | 平. 16 | 新キャンパス計画の推進を支援する。 |
| 環境安全衛生推進室 | 平. 16 | 安全衛生の推進を支援する。 |
| 男女共同参画推進室 | 平. 16 | 男女共同参画の推進を支援する。 |
| 情報環境整備推進室 | 平. 19 | 情報環境整備の推進を支援する。 |
| 百周年記念事業推進室 | 平. 21 | 百周年記念事業を支援する。 |

■特別教育研究経費－研究推進(戦略的研究推進経費)－

| 名称 | 採択年度 | 目的 |
|------------|-------|--|
| 東アジア環境研究機構 | 平. 21 | 九州大学の知と技術を統合し,東アジア圏の深刻化する環境問題を実践的に解決するための研究活動を通して,環境人材の育成と持続可能な未来環境の創成に貢献する。 |

歴代総長/
運営組織

役員等/
経営協議会
委員

教育研究評
議会評議員

沿革

学府・研究
院制度に
ついて

大学の組織

部局長等

教育研究
組織

学生定員
及び在籍
学生数

入学状況

学位取得
者数等

学部卒業・
大学院修了
後の状況

教職員等

社会との
連携

国際交流

収入・支出

グローバル
COE
プログラム等

教育プログラム
採択状況

建物配置図
及び
部局所在地

土地・建物

諸施設

案内図